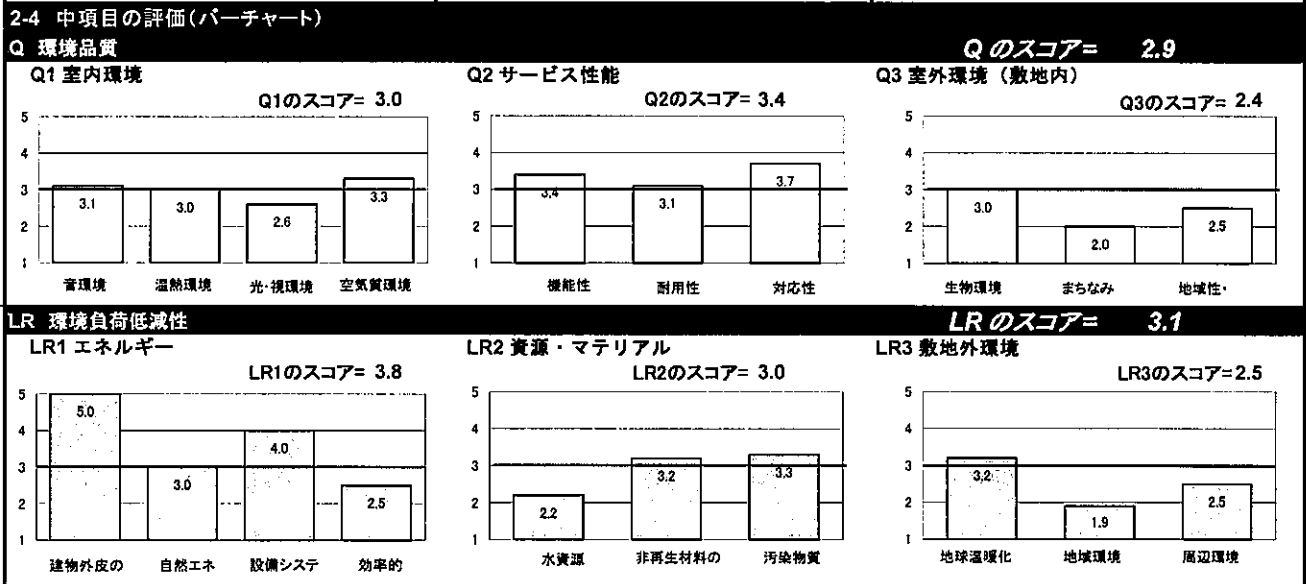
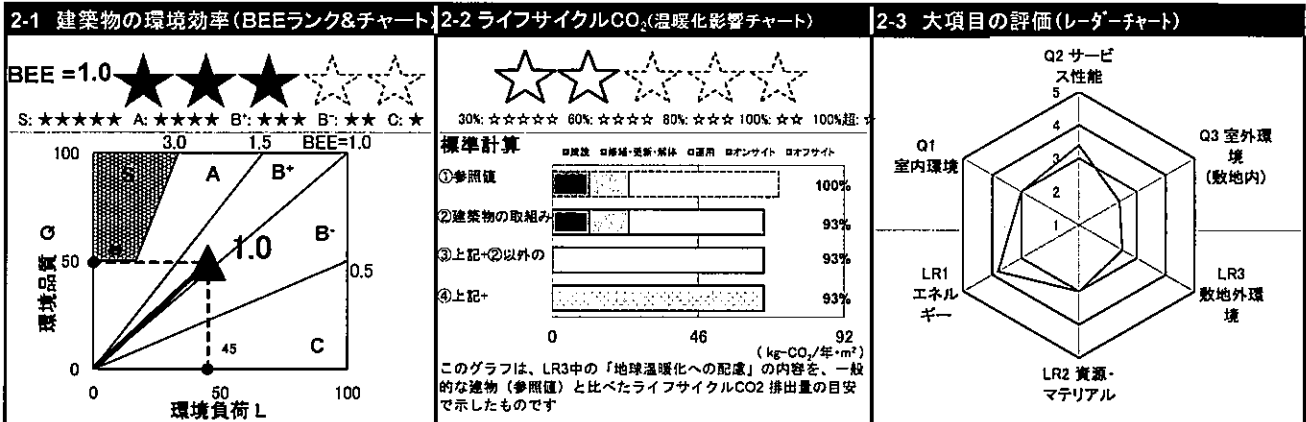


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人鳥津学園京都医療科学大	階数	地上5
建設地	京都府南丹市園部町小山東町今北	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 法22条地域	平均居住人員	500人
地域区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 0.0	評価の実施日	2015年12月20日
敷地面積	19,678 m ²	作成者	松岡
建築面積	971 m ²	確認日	
延床面積	4,316 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 大学の新棟増築計画であるため、既存棟との調和に配慮し、地域のアイポイントとなるような計画とした。		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各階の階高を高く設定し、天井高に余裕のある室内環境とした。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 OAフロアの採用など、教育のIT化に対応する性能とした。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 採用する設備機器を可能な限り省エネルギー性能を有するものとした。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 使用する仕上げ材をF☆☆☆☆とし、VOC発生の抑制に務めた	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 適切な駐車台数、駐輪場を計画した。 既存棟との関係に配慮するとともに、遠景から景観を意図し、地域のアイポイントとなるよう計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される